

日本女性外科医会の活動 ～顔の見えるネットワークによる 多彩なアプローチ～

近年では、医師国家試験合格者の3分の1は女性になっており、外科に進む女性医師も増加しています。しかし、外科は女性医師にとって働きやすい労働環境にあるとは言えません。本稿では、日本女性外科医会の活動を紹介します。それを通して見えてきた女性医師支援の問題点について述べます。

はじめに

第107回(2013年)医師国家試験の合格者の32.7%は女性でした。米国では、医学部へ願書を出す人の50%が女性で、2005～2006年には外科系レジデントの32%が女性でした。日本でも、女性は外科を選択することに前向きになっています。2011年の調査では日本外科学会の医師会員38,860名のうち2,314名(6.0%)が女性で、新入会員1,031名のうち女性は230名(22%)でした¹⁾。

女性外科医のキャリア、働き方を巡る状況

女性の妊娠・出産などのイベントはキャリアパスに影響します。女性医師はキャリアを積んでから結婚し、出産・子育てを先延ばしにする傾向があります。そうすると、年を取りますし、次に介護が入ってきます。

女性医師が継続就労するには、環境改善、育児支援、勤務形態の柔軟化、復職支援などが必要です。一生懸命働く人が

家庭・出産をあきらめずに継続就労できる環境を目指したいと思っています。

取り組みの経緯

日本女性外科医会(Japan Association of Women Surgeons: JAWS)は、日本外科学会の外部団体として2009年11月に発足しました(図1)。女性外科医に対する臨床および研究に関する支援、協体制の強化、情報交換、教育啓発活動等を会の目的としています。

正会員は日本外科学会の女性会員、準会員には男性外科医、日本外科学会の会員でない女性医師、また、活動に賛同して下さっている方にも加わっています。発足から3年半が経過し、正会員144名、準会員59名、賛助会員3社となりました。

活動内容

JAWSは、いろいろな活動を通して、世代を超えて人と繋がり、顔の見えるネットワーク作りを目指しています。

1) 定例会、朝食会

定例会を日本外科学会定期学術集會時に、朝食会を日本臨床外科学会総会時に開催しています。2012年4月の朝食会では、米国女性外科医会(Association of Women Surgeons: AWS)の設立者Dr. Numannに講演していただきました(図2)。

2) 業務支援、待遇改善の提言

女性外科医の業務の支援や待遇改善に関して提言等を行い、医学界および社会に貢献したいと考えています。男女共同参画、女性医師支援、女性医師問題という形をとっていますが、実は、男女の医師共通の労働条件に深く関わっています。しかし、日本医学会分科会には女性役員は少なく²⁾、学会による調査には、妊娠・出産、育児、介護、他の女性医師が必要としていて、労働環境改善につながる質問項目が欠損していることを問題に感じています。

3) 海外の女性医師との交流

若い頃から世界に出て行き、また外国の女性医師と国内で交流するのは、経験になるため楽しいです。毎年、数名の会員は、AWSおよびDr. Rossが設立したWomen in Surgery Career Symposium(WIS)に参加します(図3)。

4) 情報収集、調査

女性医師に関係する医学および医療に関する情報の収集と調査を行っています。例えば、外国から輸入される手術器械は手が小さい女性外科医には、握りにくいとの指摘を受けました。「女性外科医の手」プロジェクトとして、アンケート調査³⁾、および手の大きさと握力、操作力を測定し、握りにくいことを定量的に示しました。

JAWS 日本女性外科医会

Japan Association of Women Surgeons

TOP 会について 入会 メンター・サポート・チーム ライブラリ リンク集 English



お知らせ

- 第10回日本女性外科医会総会(2012年11月30日、研究会懇話会、Guest Lecturer先生は「講演」していただきました(ED))ご参加いただいた先生方に御礼申し上げます。
- 第10回JAWS総会「女性外科医が活躍するために」2013年2月16日(土)午後13:00-17:00に東京女子医科大学の同窓会ホールで開催します(自費参加・富澤康子先生)。
- 10th Annual International Women in Surgery Career Symposiumは2013年7月日から9日のロンドンでワンランクアップで開催されます(ED)。

入会申込みについて

日本女性外科医会に入会ご希望の方は、下記の表にご注意のうえ、お申し込みください。入会申込み受付は11月20日(日)までです。

- 正会員は日本外科学会正会員であることが条件です。正会員は性別を問いません。
- 正会員および準会員はオンラインで申し込み(下記のボタンをクリック)。
- 賛助会員は申込み用紙(PDF)をダウンロードして記入し、03-5981-6912にFAXしてください(下記のボタンをクリック)。
- 正会員および準会員は住所や所属が変更になりましたらホームページから会員登録情報を変更してください(下記のボタンをクリック)。
- 会費は年会費3,000円、正会員5,000円、賛助会員1,000円(税込)以上です。

なお、入会は賛助人の署名を経て代表責任者が承認します。ただし、入会の申込みいただいた賛助人は、賛助人の承認を得た上で代表責任者の判断で承認入会となります。正会員の場合は申し込みが日本外科学会の会員であることを確認させていただきます。

この入会をお知らせする際、会費のお支払いのお願いをいたします(振込用紙をお送りします)。あらかじめ、ご承認ください。

正式に入会が承認されましたら、直ちにお知らせ致します。

[正会員・準会員オンライン申込み](#)

[正会員・準会員の会員情報変更](#)

[賛助会員申込み用紙ダウンロード](#)

文献(学術論文)

- Tomizawa Y. Women in surgery: little change in gender equality in Japanese medical societies over the past 3 years. *Surg Today* 2012; DOI: 10.1007/s00595-012-0447-7
- 大越智江, 田邊智子, 久本恵光, 執西匠のワークライフ・バランスとキャリアの両立を考える—京大大学院医歯学総合研究センター、日本医歯学協会誌 2012;141:585-590
- Kawase K, Kizuka A, Yorozuka K, Tomizawa Y, Hamano PJ, Sarley M. The Attitude and Perceptions of Work-life Balance: A Comparison Among Women Surgeons in Japan, USA, and Hong Kong China. *World J Surg* 2013;37:2-11
- Kono E, Tomizawa Y, Matsuo T, Nomura S. Rating and issues of mechanical anastomotic staplers in surgical practice: a survey of 241 Japanese gastroenterological surgeons. *Surg Today* 2012;42:962-972
- 富澤康子, 野村幸世, 前田穂太郎, 平田公一. 日本医歯学協会における女性医師アンケート2011年:第10回アンケート調査. 日外会誌 113(3): 322-330, 2012
- 河野美子, 山崎芳郎, 安政啓吾, 赤丸祐介, 岩崎隆夫, 森本実和, 藤村真, 堀田啓次, 弓場健嗣. 外科における女性の参画の現状と今後の展望. 日外会誌 113(3): 331-333, 2012
- 大越智江, 田邊智子, 久本恵光, 坂井真治. 外科医の科別と職務専門分析—京大大学院医歯学総合研究センター—. 日外会誌 113(3): 334-336, 2012
- 明石定子, 富澤康子, 野村幸世, 川瀬和弘, 黒原京子, 神村智寿子, 山下晋子, 前田穂太郎, 平田公一. 女性医師の課題—日本外科学会会典に対する学童期における両立の意識と関心に関するアンケートから— 乳癌の臨床27:126-127, 2012
- 中島みちる, 河野美子, 塚本文彦, 弓場健嗣, 野村幸世, 山崎芳郎, 青見実理. 産後が懸念は、女性外科医は外科職務と育児も両立できるか. 日外会誌 2012;113(1):53-57

出版・メディア掲載

- 2012年8月27日発行の雑誌「2011年度日本女性医会誌」に「Dr. Patricia Murrayの特別インタビュー」を掲載させていただきました。
- ドクターズ 2012年Summer号の10年目のカルタ「消化器科」に宮城の取材を寄りました。
- 2012年5月26日に開催された女性医師のキャリア形成などについて考えるシンポジウムにおいてWJMSが発表・発言しました。
- 2012年1月25日発行の雑誌「2011年度日本女性医会誌」に「女性外科医会、全国医歯学協会連合会誌」を掲載させていただきました。
- 2012年1月10日発行の日本医歯学協会のニュースレターの14号の5頁目に「日本医歯学協会における女性医師の活躍」が掲載されました。

関連リンク

- 社団法人 日本外科学会
Japan Surgical Society
<http://www.jasoc.or.jp/>
- 社団法人 日本医歯学協会
Japan Medical Women's Association
<http://jmas.or.jp/>
- 社団法人 日本産婦人科医会
Japan Association of Obstetricians & Gynecology
<http://www.jaog.or.jp/>
- 社団法人 日本腎臓学会
Japanese Society of Nephrology
男女共同参画委員会があります。
<http://www.jns.or.jp/committee/>
- 日本心臓血管外科学会
Japanese Society for Cardiovascular Surgery
<http://square.umin.ac.jp/jcses/>
- 日本内分泌外科学会
Japan Association of Endocrine Surgeons
<http://jaes.umin.ac.jp/>
- 日本乳癌学会
The Japanese Breast Cancer Society
<http://www.jbcs.jp/>
- 日本消化器癌学会
Japanese Society for Gastroenterological Cancer
<http://www.j-gcc.org/>
- 日本消化器学会
The Japanese Gastroenterological Association
<http://www.jgca.jp/>
- 日本消化器外科学会
The Japanese Society of Gastroenterological Surgery
<http://www.jgs.or.jp/>
- 日本消化器内視鏡学会
Japan Gastroenterological Endoscopy Society
<http://www.jges.net/>
- 日本臨床外科学会
Japanese Gastric Cancer Association
<http://www.jgca.jp/>
- 日本脳神経外科医会
女性脳神経外科医が集まり、学問や専門性を越えて情報を交換し、親睦を深め、医療の進歩に貢献する会。
<http://www.otas-co.com/wna/>
- 内閣府認証 NPO法人 イーゼイネット
女性医師のキャリア形成・維持・向上をめざす会
<http://www.einet.jp/>

図1 日本女性外科医会のホームページ (<http://jaws.umin.jp/>)



図2 ACS President (2011~2012) Dr. Numarm と JAWS 会員 (2012年4月)

5) 学生、研修医、若手医師に向けた教育、啓発活動

女性外科医のほかに、医学生、研修医、若手医師も対象に、教育、啓発活動として、種々の勉強会を行っています。

内容は社会人として必要なマナー、育児支援、論文の書き方、研究費申請書の書き方、などです。今年の勉強会では、高齢出産と不妊症治療の現状、病児保育、育休の取り方も取り上げました。

一生のうちに会える人の数は限られています。前述のような活動も含め、機会があったらなるべくたくさんの人に会いに行き、コミュニケーションを持ちましょう。また、筆まめであると良いこと



図3 研修医と参加した2012年のWIS（中央がDr. Ross）

が近寄って来るように感じます。

JAWSをお世話して わかったこと

女性医師が指導的立場に立って、効率良くマネジメントするためには、選択肢がたくさんあることを知らなくてはなりません。ロールモデルは重要ですが、ロールモデルがいても、それが常に自分にあてはまるわけではありません。自ら、自分に合った働きやすい選択肢を見つけることは必要です。

女性医師を含め医師全員が働くことに協力的な施設には、24時間院内保育（または手配）と病児保育があります。そして、その設備・制度やメリットの内容が管理職・教授に周知されています。しかし、上司が子育てに参加しておらず、使える支援があることさえ知らないと、せっかくの制度をうまく活用できません。

医療人に対するサポートに積極的に取り組んでいる施設・科では、妊娠・出産を経て女性医師は復帰・復職できます。また、子供の運動会、PTAは公務です。トップがその気にならないと改革は絶対無理です。そして、トップ・上司にマネジメント能力があると、このような

ことが可能になります。

人事において昇格が客観的基準に基づいていることは重要です。男女を問わず、将来指導的立場に立てる人材を引き上げ、チャンスを与えることができる施設でないと将来はありません。

また、誰にでもメンターは必要です。そして自分で切り開いていく気持ちを忘れてはいけないと思います。

最後に

日本において、男性・女性の医師では、働く条件・環境が違います。女性医師の継続就労に役立つことはまだまだたくさんあると思います。小回りのきくJAWSの特徴をいかして活動していきたいと思います。

文献

- 1) 富澤康子, 野村幸世, 前田耕太郎, 平田公一. 日本医学会分科会における女性医師支援2011年: 第2回目アンケート調査. 日外会誌, 113: 322-330, 2012

- 2) Tomizawa, Y.: Women in surgery: little change in gender equality in Japanese medical societies over the past 3 years. Surg Today, 2012 10.1007/s00595-012-0447-7
- 3) Kono, E., Tomizawa, Y., Matsuo, T., Nomura, S.: Rating and issues of mechanical anastomotic staplers in surgical practice: a survey of 241 Japanese gastroenterological surgeons. Surg Today, 42: 962-972, 2012

著者 Profile

富澤康子 (とみざわ やすこ)

東京女子医科大学心臓血管外科

日本女性外科医会

好きなメッセージ: 舞台が小さく観客が少なくともがんがんアピールせよ。

